

上五島高校と議員との意見交換会の要旨

○参加者 議員：堀江議員、中村（俊）議員 学生：上五島高校1年生5名

○発表テーマ：上五島にサバゲーフィールドを作りたい

○意見交換会要旨

（中村（俊）議員）

上五島にサバゲーフィールドを作りたいと、かなり奇抜なアイデアだったけれども、しっかりとそれを裏打ちするだけの調査研究をされていて、驚きとともに感心しながら聞かせていただいた。

（堀江議員）

政策提案だから、今日皆さんが私達はこう思います。その理由はこうすることで、すってことをきちんと大勢の前で発言できる。そういう力を持つということは非常に素晴らしいことだなと思いながらお話を聞かせていただいた。

（生徒）

委員の皆さまの前での発表でとても緊張したんですけど、先生方とか、自分たちでよく調べて、上五島について深く関わることもできたし、発表を通じてですけど上五島をもっと深く知ることができたところが良かったと思う。

（中村（俊）議員）

単純にサバゲーフィールドを作るというわけではなく、今回皆さんは空き家を活用したりとか地域おこししたいという意味合いがあつての提案なので非常にこれは素晴らしいアイデアだなと、着眼点としては素晴らしいなと感じた。

後は、ぜひ皆さん来てくださいという情報発信をどういう形でやっていくかも考えなければならない。SNSでも年代によって使うものが違ってくる。

（堀江議員）

長崎県内は離島半島も多く、空き家が目立つ、それから学校が廃校になつてる状況の中、例えば雲仙市などでは、廃校を活用して、週末に地域の皆さんが食堂を開いたりし、県外の人と地元の人たちが一緒になつて地域を盛り上げる研究をしている。

サバゲーを人を呼び込む手段とする場合、どういう年代にスポットを当てていくかが課題となるので、地域の皆さんと一緒に考えていく必要があると思う。

（中村（俊）議員）

皆さんが住んでる生活環境っていうのは、見慣れた風景だと思われるかもしれないけど、上五島以外の人や外国人の方々からすると、自然の豊かさなどもありすごく魅力的に映る。そういった素材が詰まった島が離島だと思うので、いろんな視点で検討してみてよいと思う。

(生徒)

2人にとって政治とはどのように捉えているか。

(中村(俊)議員)

政治は皆さんの生活の質を向上させていくための一つの手段であって、そこに皆さんが少しでも多く関係を持てるよう、ぜひともいろんな意見を言っていたきたいなと考えている。

(堀江議員)

政治とは何かと言われると、政治とは暮らしです。皆さんの暮らしのありとあらゆる部分について、県議会で議論し決めていっているのです、皆さんの暮らしに多く関わっているんですよ。

(生徒)

長崎ではいろんな問題点や課題を多く抱えていると思うんですけど、2人にとってここが課題って思えるところがあれば教えてほしい。

(堀江議員)

人口流出ってことがよく言われており、そのために、ふるさと教育とかいろんな言い方がされていますが、やっぱり島に戻ってきたいと思える状況をどう作るかってことだと思う。

東京に仕事があっても、地方に住んで仕事ができる時代ですので、どこに住むかっていうのは選択できる時代になってきています。人材をどう育てるかに繋がっているんじゃないかなと思うので、高校時代は大きいじゃないかなと私自身は思っています。

(中村(俊)議員)

私も人口減少っていうのが一番大きな課題なのかなと思っています。若い人にとって、自分の可能性を試したり、もっと勉強したい、もっと社会をしっかり見てみたいっていう気持ちがあるのはごくごく当たり前の話なんで、一度県外や、あるいは国外に出て行った人材を、1人でも2人でも多く長崎に入ってもらえるような環境を作ることがまず一つ重要になってくる。そういった方達が、長崎の中で頑張っているいろんな技術とか知識を学びたい人を育ててもらいたいなと思ってます。

(堀江議員)

いろいろな調査をされた上で、それに基づいて私達はこういう提案するっていう、非常に勉強されてるなって思いました。

皆さんは、やはりこれからの長崎県を作っていく優秀な人材です。それこそ皆さんがこれから進学しようと就職しようと、やはり長崎県で生まれ育った1人として、これからの長崎県と、いろんな形で関わっていてほしいと思う。

今日は勉強させていただきました。ありがとうございました。